



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月4日

上場取引所 東名札

上場会社名 株式会社スズケン

コード番号 9987 URL <http://www.suzuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 裕史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小坂井 順生

TEL 052-961-2331

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,035,695	10.3	5,878	117.0	14,311	32.8	9,091	35.9
27年3月期第2四半期	939,180	△2.0	2,709	△29.6	10,776	△11.9	6,691	△15.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 5,811百万円 (△60.0%) 27年3月期第2四半期 14,528百万円 (88.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	91.70	—
27年3月期第2四半期	67.48	—

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,103,539	371,102	33.6
27年3月期	1,086,685	367,798	33.8

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 370,655百万円 27年3月期 367,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
28年3月期	—	27.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました。平成27年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,157,300	9.5	18,000	35.9	34,800	15.6	22,000	16.3	221.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	103,344,083 株	27年3月期	103,344,083 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	4,208,232 株	27年3月期	4,188,306 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	99,137,386 株	27年3月期2Q	99,156,905 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行いました^が、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、中国経済の減速など、先行きの不透明感が残っているものの、政府による経済政策の効果もあり、緩やかな景気回復基調が続くなか、個人消費は雇用・所得環境の改善傾向を背景に、底堅い動きで推移いたしました。

医療用医薬品市場は、後発医薬品使用促進の影響があったものの、平成27年3月期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があったことに加え、主に、C型肝炎治療剤、抗悪性腫瘍剤および生活習慣病関連薬剤の市場拡大により伸長したものと推測しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1兆356億95百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は58億78百万円（前年同期比117.0%増）、経常利益は143億11百万円（前年同期比32.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は90億91百万円（前年同期比35.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円未満切捨て）

セグメントの名称		平成27年3月期 第2四半期累計期間	平成28年3月期 第2四半期累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	892,508	987,423	10.6
	営業利益 又は 営業損失 (△)	△71	2,306	—
医薬品製造事業	売上高	29,669	32,709	10.2
	営業利益	1,805	1,984	9.9
保険薬局事業	売上高	42,809	48,827	14.1
	営業利益	872	1,396	60.2
医療関連サービス等事業	売上高	15,803	18,609	17.8
	営業損失 (△)	△404	△12	—

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

「医療用医薬品の流通改善に関する懇談会」による「緊急提言」を受け、引続き流通改善に取り組んでおります。具体的には、お得意さまごとに個々の医療用医薬品の価値に見合った粘り強い価格交渉に努めております。また、多様化や高度化するお得意さまニーズに対応し、顧客信頼度ナンバーワンを実現するため、お得意さまに提供するサービスの最適化と強い物流機能の確立に取り組んでおります。

売上高は、平成27年3月期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があったことに加え、C型肝炎治療剤や抗悪性腫瘍剤など、新薬の寄与による市場拡大や、個々のお得意さまのニーズにお応えする活動に継続して取り組んだことにより、前年同期比10.6%の増収となりました。

営業利益は、増収効果により増益となりました。しかしながら、医薬品卸売事業を取り巻く経営環境は、お得意さまニーズの多様化や高度化への対応など引続き厳しい状況にあります。

これらの結果、売上高は9,874億23百万円（前年同期比10.6%増）、営業利益は23億6百万円（前年同期は71百万円の営業損失）となりました。

(医薬品製造事業)

売上高は、平成27年3月期に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動があったことに加え、糖尿病関連商品を中心に販売促進に努めたことにより増収となりました。平成27年6月1日から糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の剤形追加品として、口腔内崩壊錠「セイブルOD錠」の発売を開始し、処方拡大を目指した活動に取り組んでおります。

営業利益は、増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は327億9百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は19億84百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

(保険薬局事業)

売上高は、M&Aや新規出店により増収となりました。

営業利益は、M&Aなど店舗展開により販売費及び一般管理費が増加したものの、増収効果により増益となりました。

これらの結果、売上高は488億27百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益は13億96百万円（前年同期比60.2%増）となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、医薬品メーカーを対象とした物流受託の企画や管理、および希少疾病薬領域を中心とした医薬品の流通コーディネートをこなす㈱エス・ディ・コラボにおいて、希少疾病薬の流通受託などが増加したことや、介護事業において、新規に開設した施設を中心に利用者が増加したことにより、増収となりました。

なお、介護事業における新規開設や介護従事者の確保に伴う売上原価の増加などにより、営業損失となりました。

これらの結果、売上高は186億9百万円（前年同期比17.8%増）、営業損失は12百万円（前年同期は4億4百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ168億53百万円増加し1兆1,035億39百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ206億62百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が50億19百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が180億51百万円、有価証券が33億85百万円、商品及び製品が21億29百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ38億8百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が48億12百万円増加したものの、無形固定資産が11億22百万円、投資その他の資産が74億99百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ135億49百万円増加し7,324億36百万円となりました。これは主に、未払法人税等が14億33百万円、流動負債のその他が58億5百万円、固定負債のその他が18億76百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が228億71百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ33億4百万円増加し3,711億2百万円となりました。これは主に、剰余金の配当の支払が24億33百万円、その他有価証券評価差額金の減少が37億60百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を90億91百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年10月27日に修正をしております。詳細につきましては、同日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,504	96,484
受取手形及び売掛金	486,573	504,625
有価証券	28,991	32,376
商品及び製品	140,549	142,679
仕掛品	2,897	3,766
原材料及び貯蔵品	2,498	2,821
その他	33,430	34,126
貸倒引当金	△2,163	△1,935
流動資産合計	794,281	814,943
固定資産		
有形固定資産	114,280	119,093
無形固定資産		
のれん	3,107	2,869
その他	19,381	18,496
無形固定資産合計	22,488	21,366
投資その他の資産		
投資有価証券	129,246	120,732
その他	27,031	27,989
貸倒引当金	△643	△586
投資その他の資産合計	155,634	148,135
固定資産合計	292,404	288,595
資産合計	1,086,685	1,103,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,686	672,558
短期借入金	995	925
未払法人税等	6,489	5,055
返品調整引当金	499	475
賞与引当金	8,318	8,264
その他	17,545	11,740
流動負債合計	683,535	699,019
固定負債		
長期借入金	1,124	1,105
役員退職慰労引当金	670	605
退職給付に係る負債	3,233	3,258
その他	30,324	28,447
固定負債合計	35,351	33,416
負債合計	718,886	732,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	38,897	38,897
利益剰余金	288,772	295,495
自己株式	△12,077	△12,153
株主資本合計	329,138	335,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,174	39,413
土地再評価差額金	△5,869	△5,911
為替換算調整勘定	730	801
退職給付に係る調整累計額	209	565
その他の包括利益累計額合計	38,245	34,869
非支配株主持分	414	447
純資産合計	367,798	371,102
負債純資産合計	1,086,685	1,103,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	939,180	1,035,695
売上原価	854,468	945,066
売上総利益	84,711	90,628
返品調整引当金戻入額	493	499
返品調整引当金繰入額	448	475
差引売上総利益	84,756	90,653
販売費及び一般管理費	82,047	84,775
営業利益	2,709	5,878
営業外収益		
受取利息	333	298
受取配当金	709	808
仕入割引	3,689	4,011
受入情報収入	2,517	2,698
その他	1,014	867
営業外収益合計	8,264	8,685
営業外費用		
支払利息	11	25
不動産賃貸費用	102	103
その他	83	123
営業外費用合計	197	251
経常利益	10,776	14,311
特別利益		
固定資産売却益	46	180
負ののれん発生益	27	-
その他	11	58
特別利益合計	85	238
特別損失		
固定資産除売却損	128	76
減損損失	2	217
その他	8	13
特別損失合計	139	307
税金等調整前四半期純利益	10,722	14,243
法人税等	4,013	5,121
四半期純利益	6,708	9,122
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,691	9,091

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	6,708	9,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,598	△3,760
土地再評価差額金	-	23
為替換算調整勘定	△18	11
退職給付に係る調整額	397	355
持分法適用会社に対する持分相当額	△157	60
その他の包括利益合計	7,820	△3,310
四半期包括利益	14,528	5,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,511	5,780
非支配株主に係る四半期包括利益	17	31

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,722	14,243
減価償却費	5,824	5,596
減損損失	2	217
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△176	△284
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△1,253	△147
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	100	△393
受取利息及び受取配当金	△1,043	△1,107
支払利息	11	25
固定資産除売却損益 (△は益)	82	△103
売上債権の増減額 (△は増加)	33,032	△17,911
たな卸資産の増減額 (△は増加)	22,297	△3,262
仕入債務の増減額 (△は減少)	△44,952	22,748
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,095	△6,065
その他	△2,156	△1,418
小計	26,587	12,134
利息及び配当金の受取額	1,241	1,316
利息の支払額	△11	△24
法人税等の支払額	△9,228	△6,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,589	6,854

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,392	△4,788
定期預金の払戻による収入	3,602	3,779
有価証券の取得による支出	△7,008	△13,000
有価証券の売却及び償還による収入	2,400	12,400
有形固定資産の取得による支出	△3,647	△7,190
有形固定資産の売却による収入	258	640
無形固定資産の取得による支出	△1,406	△1,772
投資有価証券の取得による支出	△3,753	△1,487
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,003	1,226
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△97	-
その他	△78	94
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,120	△10,098
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1	△70
長期借入れによる収入	-	12
長期借入金の返済による支出	△18	△62
リース債務の返済による支出	△209	△245
割賦債務の返済による支出	△9	△1
自己株式の取得による支出	△2	△76
自己株式の売却による収入	-	0
配当金の支払額	△2,613	△2,434
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,851	△2,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	△7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,609	△6,128
現金及び現金同等物の期首残高	93,832	102,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	96,442	96,732

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	874,876	10,094	42,806	11,402	939,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,631	19,575	2	4,400	41,609
計	892,508	29,669	42,809	15,803	980,790
セグメント利益又は損失(△)	△71	1,805	872	△404	2,202

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,202
セグメント間取引消去	507
四半期連結損益計算書の営業利益	2,709

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	963,932	10,836	48,825	12,100	1,035,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23,490	21,872	2	6,508	51,874
計	987,423	32,709	48,827	18,609	1,087,569
セグメント利益又は損失(△)	2,306	1,984	1,396	△12	5,676

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,676
セグメント間取引消去	202
四半期連結損益計算書の営業利益	5,878

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。